

9月10日は下水道の日

下水道 水も地球も リフレッシュ

(平成24年度下水道推進標語)

下水道は、皆さんの安全で快適な生活を確保し、河川、湖、海などの公共水域の水質汚濁防止に重要な役割を果たし、良好な水環境を創造するために必要不可欠な生活基盤施設です。下水道に関する理解と関心を深め、下水道の普及とその十分な活用促進のため9月10日を「下水道の日」と定めています。

問 上下水道課 ☎84-0327

下水道はなぜ必要なの？

自然界にはある程度まで自然のシステムによる汚水の自浄作用があり、川や海でも水をきれいにする力を持っています。しかし、工場から出る合成洗剤による排水などの汚れは、はるかに自然の浄化力を超えています。また、昔に比べて各家庭からの排水量が増えたため、川や海の水だけでは水をきれいにすることができなくなってしまいました。下水道はこれらを助けるため、幾重にも処理施設を

設け、人工的なフィルターを通して水をきれいにし、自然に帰してくれます。

下水道の役割

生活環境の改善
くみとり便所が水洗便所になり、衛生的で快適な生活ができるようになります。また、浄化槽の排水が小水路や道路側溝に流れることがなくなるため、悪臭や蚊・ハエなどの害虫の発生を防いで、街がきれいになります。

水質の保全

生活排水など汚れた水が川

接続工事の流れ

- ①見積り・契約
下水道接続工事は町に登録された指定工事店でなければ行えません。指定工事店に見積りを依頼して工事内容、金額について十分検討して契約をしてください。
- ②工事の施工
指定工事店が町に工事の申請を行い、町が設計審査を行ってから工事を始めます。
- ③工事の完成
工事が完了し、公共下水道の使用を開始するときは、使用開始届を提出してください。
- ④工事の検査
工事が完成した後、設計のとおり施工されているか町が検査を行います。検査に合格すると検査済証を交付します。

下水道

ふれあいまつり

水環境に対する下水道への理解と関心を深めることを目的として、下水処理場の施設を開放する「下水道ふれあいまつり」が開催されます。

下水処理場の見学や下水道学習教室で下水道処理のしくみを学ぶことができます。

日時 10月20日(土)

午前10時～午後3時

場所 酒匂川流域下水道

酒匂管理センター内

酒匂きらり広場

(小田原市西酒匂1-1-54)

交通

JR東海道線鴨宮駅

南口から徒歩約10分

駐車場に限りがありますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。

問 公益財団法人神奈川県

下水道公社総務部企画課

☎0463・55・7438

http://www.kanagawa-swfor.jp/swfor.jp/

子育てひろポイント 101

Q 5歳の子どもがいますが、早く寝ようというのが困ります。

A 最近、親の生活の変化やテレビなどの影響で夜ふかしをする子が増えています。

お子さんの睡眠は、親が寝かせるように取り組み、早寝早起きの習慣をつけてあげる必要があります。

お子さんにとって十分な睡眠は、食事と同じくらいたいせつです。成長ホルモンは眠っている間(とくに夜10時から朝4時の間で完全に眠っている状態のとき)に分泌されます。また、睡眠は精神安定作用があることも分かっています。

そのため、夜8時過ぎには寝かせ、9～10時間の睡眠を取ることが望ましいです(小学校低学年くらいまで)。また、大人の生活の都合で、お子さんが就寝する時間が遅くならないように気をつけましょう。

お子さんを早く寝かせるためには完全に部屋の電気を消し部屋を真っ暗にしたり、添い寝をしたり、本を読んであ



問 保険健康課

☎84-0327

公共下水道への早期接続をお願いします

下水道が利用できるようなった区域では、建物の所有者は下水道法により公共下水道への接続が義務付けられています。下水道に接続していただくことにより、はじめて下水道の目的が達成されることになります。

酒

田みずのべ保育園は昨年、創立10周年を迎えました。スタート時には60人に満たない園児数でしたが現在は駅周辺の開発に伴い、大勢のお友達に囲まれて元気に保育を展開しています。周囲を酒匂川と田園風景が広がるという恵まれた環境の下、子どもたちはのびのびとおおらかに成長していることを常々保育の中で感じています。

ま

た、1年を通して周りの稲の育ちを見たり、園庭の野菜やぶどう・さつまいもにゴーヤなどから自然の草花に至るまで、あらゆる植物の成長を見ることが子どもたちは季節の移り変わりを体験し、動植物と共に心身を育んでいます。

そ

んな環境の中、保育園にやってきます。子どもたちの大好きな虫たちです。アリのトカゲにカエル。ダンゴ虫にクモにと様々です。

あ

る日、保育室に一匹のアリが紛れ込んでしまいました。目にする光景でしたが「先生、アリがいるよ!」「あつ!本当だね。どうしたらいいかな...」「踏まれたらかわいそうだよ。外へ逃

しポート 今
子どもたちは
【自然と恵みに感謝】



酒田みずのべ保育園保育士 佐々木淳子

無

事にアリのテラスに逃がすことができ、ホッとした子どもたちは口々に「逃げるの、すっごく早いね。」「すばらしいね。」「おしゃべりしながら楽しそうに次の活動へと戻っていました。」

こ

の何気ないやり取りでしたが、子どもたちは常に近くに動植物がいることで小さな生き物にも一つの命が宿り、共

に生活しているからこそ人や物だけでなく、動植物にも優しさや思いやりの気持ちを持って接することを園生活の中で学んでいくことができることを実感することができました。

子

どもの豊かな心身の成長には保護者の深い愛情と保育者の援助・地域からの支援、そして自然あふれる豊かな環境があつてこそ育まれていくものだと思っています。このすばらしい環境を生かし、一人一人の子どもののびのびとおおらかに、優しい気持ちを持てるよう自然と共に育んでいきたいです。

そ

として、この環境を維持し、てくださっている地域の皆様へ感謝の気持ちを伝えたいと思います。

